

【日本クルーズ&フェリー学会論文集への投稿要綱】

- 1) 本論文集は電子媒体での発行とし、本学会のホームページに掲載される。
- 2) 投稿する学術論文および調査レポートは、客船に関連する内容で、本会会員を裨益するものでなくてはならない。
- 3) 投稿する学術論文および調査レポートは、下記の「日本クルーズ&フェリー学会論文集投稿規程」に基づいてPCのワープロソフト(Microsoft Office Word等)で作成されたものでなければならない。
- 4) 学術論文および調査レポート投稿する者は、本学会会員で、投稿時の年度の会費を収めていなくてはならない。なお、連名者がある場合には過半数が本学会会員でなければならない。
- 5) 投稿された学術論文には査読審査を行い、同審査を通った論文のみが学術論文として本論文集に掲載される。
- 6) 学術論文の査読審査は、理事会の承認を得た査読者が複数で行い、過半数の査読者の承認が得られなければならない。査読者の意見によっては、著者に修正を求め、再提出原稿を再査読する場合もある。
- 7) 調査レポートには査読審査を行わないが、内容について学会事務局がチェックをして疑義がある場合には修正を求めることがある。
- 8) 学術論文で査読の結果、学術論文のレベルに達していないとされた論文であっても、本会会員を裨益する内容のものは、著者の希望によって、調査レポートとして掲載することが可能である。
- 9) 学術論文および調査レポートの掲載料は、1本1万円とする。本掲載料は、論文集掲載後に学会事務局から請求される。

【日本クルーズ&フェリー学会論文集 投稿規程】

「日本クルーズ&フェリー学会論文集」に掲載を希望する学術論文および調査レポートは、以下の規定にしたがい投稿してください。本規定が言及していない部分については投稿者が常識的に判断してください。

(1) 査読用原稿の作成

原稿は下記の規定にしたがって作成し、必ずページ番号を打ち、データをメール添付にてお送りください。

(2) 行数・字数・余白など

全体の分量は8ページ程度までとする。1ページは、ヨコ24文字、タテ43行の2段組とする。ただし、表題、英文表題、著者名、日本語要約までは1段組とする。

余白は上30ミリ、下23ミリ、左右は23ミリ、段の間隔は6ミリとする。本文は明朝体10ポイントとする。

余白、段間隔の調整が難しい場合、上余白は30~33ミリ、下余白は21~25ミリ、左右余白21~25ミリ、段の間隔は4~7ミリ程度を許容範囲とする。

(3) 表題・副題・英文表題

表題・副題・英文表題は、1段組とする。表題は、明朝体14ポイントで太字にする。副題がある場合、印字は12ポイントで、太字にはしない。英文表題は11ポイントで、太字にはしない。

(4) 著者名、ローマ字氏名

著者名には、ローマ字氏名を併記し、英文表題の下に1段組とする。著者名、ローマ字氏名は10ポイントとする。著者名には「*」を付ける。連名の場合も同様であるが、所属が異なる場合は「**」、「***」などとする。著者名が多く、レイアウトが困難なときは、印字のポイントを落とし、字を詰めてもよい。

(5) 要約

要約は、一段組とし、200字から300字程度、4行以上10行以内とする。印字は明朝体9ポイントとする。

(6) 各表記の行間

表題と英文表題の行間はあけない。

英文表題と著者名の行間は1行あけ、著者名とローマ字氏名の行間はあけない。

ローマ字氏名と要約、要約とキーワード、キーワードと本文の間はそれぞれ1行あける。

(7) 補注、参考文献など

参考文献は、本文中の該当箇所の右肩に1)、2)、3) …の記号(半角)で示し、本文末に一括して以下の形式で掲載する。

<単行本の場合>

- 1) 著者名(公刊西暦年号): 書名、発行所、引用・参考ページ
- 2) 引用・参考文献著者名: 論文名(編著者名「書名」、発行所名)、ページ

<雑誌の場合>

- 3) 著者名(公刊西暦年号): 論文名、掲載雑誌名、巻(号)、ページ
ページについては、p. 28 あるいは pp. 105-112 のように表記する。

(8) 謝辞、付記

謝辞や助成研究であることなどを記す必要がある場合は、謝辞: あるいは付記: とゴシック体9ポイントで表記し、その後に明朝体9ポイントで記すこと。本文末と補注の間に前後それぞれ1行あけて謝辞の行を配すること。なお、謝辞: と付記: は併記することを避け、どちらかを選択する。

(9) 所属の表記

所属は1ページ下端部の本文1~5行分を用いて表記する。1行は本文との境界線に使い、境界線下1行に明朝体10ポイントを用い、「*所属」の形で記すこと。連名で所属が異なる場合は、「**」、「***」とし、著者名の表記部分に付した*印と対応させる。連名で1行におさまらない場合は、ポイントを落とし、字を詰めても良い。所属は、大学の場合、大学・学部、大学・大学院・研究科まで程度とし、大学院生、学部生はその旨明記する。企業、官公庁、研究所などの場合もあまり長くならないよう簡潔に記すこと、職名、役職、学位などは表記しない。

(10) 本文の見出し

本文の見出しはつぎのように統一する。これ以外の小項目はなるべく避ける。

章・・・・・・1. 2. 3. (数字は全角ゴシック・10ポイント)

節・・・・・・(1) (2) (3) (同、半角ゴシック・10ポイント)

項・・・・・・1) 2) 3) (同、半角ゴシック・10ポイント)

数字の後に半角スペースを置く。文字部分は全てゴシック太字10ポイントとする。

章末は1行空けて次章をはじめる。節末や項末の後は行を空けずに次の行からはじめる。

(11) 英文・数字の字体

英文(ローマ字)と数字に関して字体をとくに定めないが、本文中にあつて明朝体10ポイントの邦文部分に対して、視覚的に極端に強調されるような字体は避けること。

(12) 図・表・写真

図、表および写真は原稿に挿入すること。

図および写真、表には記載順に図1、表1のように通し番号をつけ、タイトルを記すこと。図および写真の場合は下に、表の場合には上に番号とタイトルをいれる。番号とタイトル文字はともにゴシック体9ポイントで表記する。

(13) 原稿等の送付

査読用論文または調査レポートのデータをメール添付にて下記あて送付すること。

【送付先】

日本クルーズ&フェリー学会 事務局 y-ikeda@s.keiho-u.ac.jp

〒593-8303 堺市西区上野芝向ヶ丘町1-23-1-420